

校長ニューズレター(第13号・4月号) 宜野湾市立長田小学校校長:横山芳春



H22年度・子どもをそだてる長田小の学校づくり

新1年生が4月8日に元気よく入学してきました。新しく本校のPTAになられた保護者のみなさま、よろしくお願ひします。

全保護者のみなさまに、新年度の学校づくりについて、ご紹介しましょう。

学校ビジョンは「1000のこどもに1000の未来～すべてのこどもの可能性を開き伸ばす教育」です。子供の可能性を開き伸ばすための方法はつぎのとおりです。

- ① まず子どもたちに自信とやる気と集中力をつけてもらうために、「総合表現」に取り組みます。これは、朗読と歌と体の動きをとおして表現活動をおこないます。「全校合唱」にもとりくみます。個人だけでは、学級だけでは、学年だけでは学べない学校全体で、子どもたちの感性を育てていきます。これらの営みは、学力をのばしていくための“根っ子”を創っていくことでしょう。
- ② わかりやすく質の高い授業をとおして実現します。このような授業は、先生たちの授業研究の積み重ねで創り上げていきます。
- ③ 授業研究は、共同研究者をまねいて実施します。先生同士の学びあいはもちろんのこと、先生たちの指導ができる先生（共同研究者）を県内外からまねきます。昨年度に引き続き、川嶋環先生（東京）、狩野浩二先生（埼玉）、西江重勝先生（那覇市）たちが、ボランティアで子どもたちに学びを提供してくれます。
- ④ 今年度から、宜野湾市独自の制度で、学習支援員が週あたり30時間勤務してくれることになりました。よりきめの細かい、学習指導ができるようになります。
- ⑤ 学生ボランティアの活用も積極的に行ってい

ます。琉大2年生の学生が19人、学習支援で毎週水曜日、11回来校してくれます。

- ⑥ 学習規律をしっかり身につけさせていきます。チャイムがなったら席に着く。椅子にきちんと座る。先生のほうを見て先生の話を聞くなど。4月7日から5月21日までのあいだは、沖縄県学習規律強化月間です。
- ⑦ 生活習慣の確立を確実にする。早寝・早起きをさせ、朝ごはんをしっかり食べさせる。これができていないと、学校での授業に集中できません。ご家庭の役割です。お願ひ申し上げます。
- ⑧ 家庭学習を習慣化させる（当たり前にする）。全国学力テストのトップクラスである秋田県や福井県は、児童・生徒が家庭学習は当たり前、やって当然というぐらゐの習慣になっています。もちろん、質の高い授業もおこなわれています。家庭学習の習慣化の秘訣は、親御さんのかかわり方がおおいに影響します。親御さんがかかわるほど、家庭学習が習慣化できます。なお、家庭学習について、本校の統一した方針をつくりました。家庭訪問等でお知らせします。
- ⑨ 毎朝、読書の時間を設けています（ただし水曜朝は、児童朝会等）。読書は思考力を育てます。重要な時間です。
- ⑩ 行事を精選し、より子どもの成長に結びつくものに発展させます。たとえば、学芸会を学習発表会に。日頃の授業の成果、子どもたちの成長の姿を発表します。またこの日は、学力対策発表会も兼ねた行事にします。

では、学校・家庭・地域がそれぞれの役割をはたして（自立）、連携・協働していきましょう！子ども未来のために！